

【基本方針】 次代を拓く選ばれる大学へ、さらなる発展を一丸となって実現する

- ・次代を担う「テクノロジスト」を育てる
- ・誰もが知る、社会・産業界・地域に貢献する大学になる
- ・学生が希望を持って学び、教職員がやりがいを持って働く元気な大学になる

【めざす姿】
日本の未来を担う『生き抜く力』『たくましい知性と実行力』
を身につけたテクノロジストを育むたくましい大学になる

【我々の行動目標・信条】 未来をつくるために我々は変わる

- ・大学の独自性と魅力を共有し、全員で発信する
- ・危機感、あるべき姿、将来の夢を語り、全員で共有する
- ・改善の意識を持ち、変えること・やめることを恐れない

大項目	小項目	目標	2025年度行動計画	リーダー	推進部署	1Q	2Q	3Q	4Q	KPI・目標値			
1. 次代を担うテクノロジストの育成													
(1) テクノロジスト育成教育の進化	○「志」「たくましい知性と実行力」「真摯さ」を備えたテクノロジストの育成	1) 3つのポリシーとアセスメントポリシーによるPDCA ①継続的な学修に向けたアカデミック・アドバイスの実施（ホームルームの強化など） ②IRを活用した成績評価基準の検証	(國分)大垣 澤本 鎌澤	教務課 教育組織改革 準備室	①	実施			検証	・学生の単位取得率の向上			
	○テクノロジストを育てるオンリーワンの教育プログラムの企画・展開	②数理・データサイエンス・AI教育プログラムの分析・検証 ②語学教育(英語・日本語)の充実 ③大学連携による教養教育の提供			②	各クォータ科目の成績分布確認、補習・補充授業、単位認定							
					①	プログラムの実施			オープンバッチ配布・HP公表				
(2) 学生のキャリア形成と学生生活のサポート	○入学前から卒業後まで、経済面を含めたサポート	1)「ものづくり大学の教育に関するアンケート」を卒業生向けに実施	佐久田 久力	学生課	②	実施			検証	・学生の教育満足度の向上 ・留学生の日本語能力の向上			
	○学生・卒業生の評価をフィードバックし、サービスの質向上を継続推進	②段階的なキャリア形成サポートプログラムの充実			③	各クォータ提供			検証				
	○時代と社会の要請に応える教育分野の再構築	③教育課程の見直し ①コース再編の検討 ②主専攻制の見直し検討			①	検討			大枠決定		OCなどで公表		
(3) 大学の魅力創造と発信で選ばれる大学へ	○今年度入試対策＆来年度入試制度改革	1)今年度入試対策＆来年度入試制度改革 ①WEB出願に変更(クォータ入試、秋入試除く)。出願手続きの簡素化 ②留学生募集対策の策定、対策の実行と情報共有強化 ③来年度入試制度改革(教育連携校特別入試の実施) ④編入学対策の強化(高専、専門学校への情報発信強化) ⑤入試説明動画の配信	大垣 大塚 斉藤 岩崎	入試課 企画広報課 教育連携推進 室	②	実施			検証と見直し	・年内入試受験者数280名			
	○入学率向上するOCに見直し	②			実施とPR			検証と見直し					
		③			検討			設定					
		④			方針検討			営業					
		⑤			方針検討・制作			配信	制作		配信		
	○ものづくり教育のすばらしさを伝える営業展開	①			内容検討			実施	検証と見直し				
		②			4/26,4/27			8/1,8/2	検証と見直し				
		③						9/6	検証と見直し				
		④			制作			配信					
	○高校生や保護者への広報	①			検討			実施					
②		作成			運用と更新								
③		検討			運用	検証							
①		検討			運用	検証と見直し							
○教育連携関係[連携協定校]からの展開	②	検討			随時対応								
	③	検討・調査			修正	検証							
	④				随時								
	①	総合的探求の時間に関する授業実施計画の立案・調整											
2. 社会・産業界・地域ニーズに応える教育・研究													
(1) 社会・産業界・地域の課題解決に向けた取組み	○社会課題解決に向けた産官学・地域連携の推進	1)重点分野における企業・自治体等への戦略的な提案活動	荒木 眞鍋 岩崎	もの研 企画広報課	企画	提案活動			評価	・提案件数 10件			
	○多様な企業・大学等との教育・研究分野における連携の推進	2)連携協定等に基づく具体的な取組と情報発信				随時				・情報発信 15件			
		3)共創プラットフォームの構築による取組の拡大			プラットフォーム構築	企画・実施			評価	・プラットフォーム 2件			
(2) 産業界等の人材育成ニーズに応える生涯教育	○企業との持続的関係を構築するパートナーシップ型産学連携の推進	1)企業への組織的な提案活動と仕組みづくり	荒木 眞鍋	もの研	提案活動	企画			実施	・HP新着350件 ・SNS700件 ・HPユーザー数23万件			
	○産業界のニーズに対応した社会人教育プログラムの提供	2)埼玉大学と連携したリカレント教育の実施			開催企画	募集・実施			評価		・新規講座数 3講座		
3. 強くてしなやかな組織による大学運営													
(1) スピード感のある執行体制の構築	○機動力のある経営・運営を支える機能強化と方向性の共有	1)経営・大学運営方針の提案と共有	(土屋) 竹下 大藤 荒木	経営企画本部 総務課	①	検討	共有	調整	検討	策定	・会議工数減		
	○会議体の見直しと運営の効率化を継続的に実行	2)行動計画の進捗状況の定期確認、優先度を踏まえた対応提案			②	企画・実行			見直し	検討・策定			
		3)会議の設定・運営についての改善の仕組み検討、実施				課題洗い出し			検討	実施			
		○内部質保証による透明性のある大学運営とガバナンス強化			4)新体制での理事会、評議員会、意見交換会の運営	6月準備・開催	9月準備・開催	12月準備・開催	3月準備・開催				
(2) やりがいのある職場づくり	○業務の見直しとDX活用による不断の改善	1)業務簡素化に向けた作業工数の見直し、ITツールを活用した業務の効率化	大藤 窪田	総務課	見直し			実行	評価・まとめ				
	○新たな施策や業務の改善を提案、実現できる人材育成	2)FSDの充実、若手人材の成長支援、教職員の学外研修参加及び資格補助制度利用促進			周知			実行	まとめ				
		3)システム変更での課題整理・対応検討・実施						検討	実施				
(3) 未来キャンパスプランと持続的な財務計画の策定	○未来キャンパスプランの策定	1)入学定員の見直し	澤本 松本 三原 大塚	教育組織改革 準備室 MONOBASE 運営委員会 施設設備計画 部会 総務課 財務マネジメント室	調査・検討(基幹教員制度含)			資料準備・学則改正			・ワークショップ・講習会 4回/月 ・イベント数 3回		
	○中長期施設・設備計画のブラッシュアップ	2)MONO BASEの一般開放と充実運営			稼働・講習会等実施	外部利用開始	CNC稼働準備	次年度計画・予算化					
		3)施設の新設と修繕等に関する2025キャンパス整備計画作成(教育研究設備の更新・修理にかかる補助金・外部資金の獲得含)			FMWG:キャンパス整備WG			計画・実行				評価・まとめ	
		4)マスタープラン2040のさらなるブラッシュアップと財務との連携			検討・見直し								
		5)ファシリティマネジメントの追求			FMWG:検討			見直し				計画・実行	予実管理評価
		6)新たな寄付金募集の実施			FMWG:検討・見直し			計画・実行				評価・まとめ	
	○経営計画と連動した財務計画の作成	7)支出を抑制する財務改善案を検討			調査・検討			実行					
					方針検討			対応実施			振り返り		